SHONAN GAKUEN 136 2024.3.9 DAYORI

湘南学園だより

創立90周年記念号

発　行：湘南学園だより編集部

SHONAN GAKUEN 90th

CONTENTS

湘南学園創立90周年「つなぐ・つながる」	理事長　岩　武　　学	2
未来社会を生きる学園生たちのために	学園長　住　田　昌　治	3
90周年記念行事のご紹介　～つなぐ・つながる～ 記念式典・祝賀会／湘南学園未来フォーラム イベント紹介／湘南学園 ON STAGE	90周年記念行事実行委員会	5
チーム湘南学園からのメッセージ	生徒会総務委員長　清　水　啓　介	6
	ＰＴＡ会長　江利川　ちひろ	7
	同窓会会長　山　口　英　昭	8
	ＮＰＯ法人湘南食育ラボ　原　田　ゆう子	9
	後援会会長　近　藤　えり子	11
2023年度湘南学園全学教育研究集会	中学高等学校教諭　有　薗　和　子	12
湘南学園松ぼっくり基金寄付者芳名録		13
2023年度「松ぼっくり基金」のご報告	理事長　岩　武　　学 学園長　住　田　昌　治	14
学校法人からのご報告		16

湘南学園創立90周年「つなぐ・つながる」

理事長　岩武　学

改めまして90周年行事にご参加・ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。おかげさまで90周年行事当日には千六百名近くの方にご来園いただき、無事終えることができました。

今回は「つなぐ・つながる」をテーマに立場を超えて様々な人たちがつながり、協働することができました。

ご卒業生も加わった吹奏楽部の圧巻の演奏からはじまった90周年記念式典では、中学1回生の鈴木健次様にご挨拶いただき、当時の湘南学園やご卒業生のご活躍についてお話いただきました。また、コロナ禍でできなかった中学8回生、永嶺謙忠様の日本学士院賞受賞（2019）のお祝いをようやく行うことができました。

9回生、森陽子様からはステンドグラス作品「もうひとつの地球」をご寄贈いただき、建学の精神モニュメントとさせていただきました。

学園パフォーマンスでは、幼稚園児の元気なムービーから始まり、小学生の美しい合唱で心が清らかになり、迫力の中高ダンス部パフォーマンスには圧倒されました。最後は学園歌斉唱&書道部パフォーマンスでの「感動舞輝」が見事に決まりました。

直後に行われた祝賀会でも地域の方をはじめ、たくさんの方々にご出席いただきました。カフェテリアの皆様においしいお料理をご提供いただき、懐かしいお顔も拝見できたり、談笑しながら一緒にお祝いをすることができました。

記念誌の企画から誕生した90周年記念ソング「おぼえているかい？」は14回生、三浦恒義様に制作いただきました。また、15回生の遠藤大六様には90周年記念ムービー「Shonan Chronicles」を制作いただきました。ぜひお二人の作品に触れていただければと存じます。

中高ホールや一部教室では、様々なイベントが行われました。キッチンカーにはたくさんの行列ができ、早々に売り切れてしまう店舗もありました。飲食スペースでは、再会の場面があちらこちらにあり、楽しそうにお話される方たちの姿がとても印象的でした。

午後にアリーナで行われた「湘南学園未来フォーラム」では、住田学園長がファシリテーターを務め、ゲストにたかまつななさん、露木しいなさんをお迎えして、学園生と持続可能な未来について語り合いました。

その後には「湘南学園ＯＮＳＴＡＧＥ」と題しまして、中高軽音楽部の大迫力ライブが行われ、ダンス部のパフォーマンスでのキレと美しさに会場は大いに盛り上がりました。

小学生の民舞メドレーでは、1年生から6年生までの見事なつながりを見せていただきました。最後のソーラン節では会場から感動の涙が溢れていました。

ラッパー神澤清さんのライブでは、リズムに乗りながら環境問題を身近に感じることができました。その後は23回生、テミヤンさんと中2青木海里さんのフラダンスと歌のコラボステージが行われ、テミヤンさんの絶妙な会場とのやり取りの中でみんなが楽しくなって、会場が温かい雰囲気に包まれました。その流れを受けて、フィナーレでは三浦恒義さんと一緒に「おぼえているかい？」を会場みんなで歌い、90周年記念イベントは幕を下ろしました。

ＰＴＡやサポーターズクラブ、同窓会、後援会、湘南食育ラボ他、たくさんの方々のご協力がなければこのような90周年記念行事はできなかったと思います。本当にありがとうございました。

決して完璧だったわけではありません。次に活かさなければならない過ちもありました。この経験を次の方たちにしっかり引き継いでまいります。

次年度、湘南学園は91周年という新たな一歩を踏み出します。90周年を機にたくさんの方たちつながることができましたが、これで終わってしまっては意味がありません。91年目は「つながり続ける」ことを大切に皆様と共に一歩一歩進んでいきたいと思います。

今後とも、湘南学園をご支援いただきますようお願い申し上げます。

未来社会を生きる 学園生たちのために
～つなぐ・つながる湘南学園 歩みだす百周年への一歩～

学園長 住田昌治

過去から現在、そして未来へと繋がる湘南学園。他に類を見ないユニークな90年の歴史を振り返りつつ、大きな可能性を秘めた百周年というステージを展望した創立90周年記念事業でした。計画・準備段階から実行委員会に参画いただいた皆様、記念事業に参加していただいた皆様、お陰様で湘南学園らしくアットホームな中にも厳粛な雰囲気を感じられる素敵な記念事業となりました。湘南学園に関わる方々の献身的な取り組みと爆発的なエネルギーには驚きを隠せませんでした。湘南学園愛に裏付けられた、想いと行動力の一端を垣間見た気がします。百周年では、さらに大きな湘南学園愛が集結して、持続可能な未来づくりに貢献する学園生や学園関係者の姿がたくさん見られることと思います。

創立90周年記念事業に関わっていただいたすべての方に、改めて感謝とお礼を申し上げます。

つながりが導く記念事業の構築

私が着任した２０２２年４月には、新型コロナウイルス感染症の影響が強く残り、翌年に控えた創立90周年記念事業をどのような形で行うことができるのか、見通しが立っていない状況でした。盛大に行われた創立80周年記念事業の話をうかがいながら、90周年を祝い、感謝を伝える年にするために、何ができるのか、どのように進めていけばよいのか、学園関係者の皆様の声に耳を傾けながら、できることをやっていこうという思いでおりました。その後、５月８日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが５類感染症になり、徐々に制限が解除されたことで、創立90周年記念事業も本格的に準備を始めることになりました。

７月に準備委員会を立ち上げ、創立90周年記念事業のコンセプトを話し合う中で、「湘南学園創立からの長い歴史を振り返るのは百周年に譲り、今回は80周年から90周年の10年間にフォーカスしていこう」ということで合意形成していきました。この10年を振り返った時、学園全体、各パートでの変化、どのようなことが行われてきたのか、また直前に世界中を混乱に陥れた新型コロナウイルス感染症による休校や制限のある中での学校生活や授業について記しておく必要があることなどが話し合われました。

準備委員会から実行委員会（手上げ方式）へと移行する中で、学園に関わる多くの関係者の皆さんが集結し、計画が進んでいく中で内容がどんどん加わり、当初の予定を大きく上回るスケールの事業へと発展していきました。実行委員会には、学園各パート、理事、保護者、ＰＴＡ、同窓会、後援会、湘南食育ラボ、生徒会…とチーム湘南学園が大きなうねりとなって動き出しました。実行委員会の推進役として、スタートアップチームが何度も打ち合わせを重ね、式典・祝賀会、イベント、記念誌のリーダーのみならず、広報、販売、協賛金、ムービー等々、紙面では表せないほど多岐にわたる活動を担っていただきました。

また、同窓会の方とのかかわりの中で、素敵なステンドグラス「もうひとつの地球」をモニュメントとして建学の精神が事務局前に設置できたことも忘れられないことです。湘南学園の建学の精神「個性豊かにして身体健全　気品高く　社会の進歩に貢献できる明朗有為な実力のある人間の育成」は、現代版ＥＳＤと思えるほど、先見の明のある、先進的な理念だと考えています。私は着任した時から、その建学の精神をどこかに見える形で設置したいという願いがありました。同窓会の役員の方のご尽力のおかげで、その願いが実現したのです。（２０２３年７月６日学園長通信をぜひご覧ください。）

90周年を機に、建学の精神に立ち返り、その実現に向けて、正に社会の進歩に貢献できるように、今の時代にあった新たな湘南学園ビジョンを描く必要もあると強く感じています。

百周年へのビジョン

今、時代は大きく変化しています。人生百年時代を迎え、学園生たちの生きる社会は、マルチステージが主流の時代になると言われていますし、すでにその時代に入っているかもしれません。それに合わせて、教育の在り方も変化していく必要があります。変容を求められる時代において、自分を常にアップデートできるように、自ら求め、自ら獲得する学び方が必要になってきます。そこで、将来の社会を牽引し、未来を生き抜いていく学園生のための、百周年への第一歩として新時代の湘南学園教育ビジョンを描き、実現していきたいと考えています。

皆さんが描く、百周年の湘南学園はどんなイメージでしょう？私は、希望と可能性に満ちたワクワクする未来を描きたいと思っています。そのために大切な言葉は、決して目新しい言葉や流行の言葉ではなく、故きを温ねて新しきを知る「温故知新」だと思っています。先人の知恵に学び、考え方に触れ、深い教えを紐解き、現在、そして未来へと続く持続可能な社会づくりに

活かしていくことです。これからの社会づくりのコンセプトの一つは、持続可能性だと言われています。遠い昔からの考えに基づく継続的な営みがあって現在の私たちの豊かな生活があります。それを今度は私たちが次の世代に引き継ぐときに独りよがりではなく、しっかりした拠り所となるのが先人の考えです。

ユネスコスクール（※1）加盟を目指している幼稚園と小学校が、昨年12月、国内審査を通過し、キャンディデート校（※2）になることが決まりました。幼稚園は神奈川県初となり、唯一のユネスコスクール加盟となる予定です。1年間のチャレンジ期間の取り組み内容だけでなく、これまでの教育活動がユネスコスクールで重視している内容に沿ったものであることが認められたということでもあります。

（幼稚園、小学校、中学校高等学校の取り組みにつきましては、それぞれのホームページやインスタグラムで発信していますので、ぜひご覧ください。）

幼少期においては、体験を重視した活動、子どもが主体的に取り組む姿勢、自分で考え行動する力、仲間づくりなどが大事です。このようなことを大事にしてきた教育活動が湘南学園の取り組みの魅力として、国内審査で認められたことは、大変嬉しいことです。これまで以上に、子ども主体の教育活動になるよう力を入れていかなければなりません。

そして、ユネスコスクールが3つの柱として示していることは、「地球市民および平和と非暴力の文化」「持続可能な開発および持続可能なライフスタイル」「異文化学習および文化の多様性と文化遺産の尊重」です。内向きにならず、視野を広げ、「シンクグローバリー・アクトローカリー」（地球規模で考え、足元から行動せよ）の考えのもと、実践に磨きをかけていくことが期待されます。キャンディデート校は、ユネスコスクール加盟校と同じように活動することになりますので、湘南学園は全学ユネスコスクールとして活動することになります。現在、国内でのユネスコスクール申請校が激増していますので、正式な加盟には数年かかるものと思われます。それまでに、学内での体制をしっかり整え、ＥＳＤ（※3）を系統的に一貫して取り組む準備をしていきたいと思います。

ＥＳＤは、地球社会を持続不可能にしつつある価値観や行動、ライフスタイルに影響を与えてきた教育の在り方自体を変えていくことです。学習指導要領には前文が設けられ、これから目指す社会は「持続可能な社会」と明確に示されました。今、漠然とした不安や違和感、世界に蔓延する暴力の連鎖、排他的な自国中心主義、コミュニティの対話力・多様性受容力・共感力の欠如、分断と非寛容な社会が広がってきています。これから先、子どもたちが今までと同じように豊かな生活を過ごせる保証はありません。今、私たちが目の前の問題に真剣に向き合わなければ、これからの時代を生きる子どもたちにすべてのツケを払わせることにもなります。学園全体でのＥＳＤへの取組は、ユネスコ等が推奨する「ホールスクール・アプローチ」で、学園全体を対象に園児・児童・生徒に寄り添いながら推し進めていく「変革」であり、「学校文化」に変容を迫る過程を大切にすることです。

「個性豊かにして身体健全気品高く　社会の進歩に貢献できる　明朗有為な実力のある人間の育成」この建学の精神に敬意を表しながら、常にＥＳＤとの接点を意識して持続発展する湘南学園にしていきたいと考えています。

今年は、湘南学園創立91周年。百周年に向けて新たな一歩を踏み出す湘南学園です。一人一人の学園生が持続可能な社会の創り手として成長していくことができるよう、湘南学園の未来ビジョンを描き、取り組みを進めていきたいと考えています。引き続き本学園の教育活動にご理解ご協力いただき、ご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

※1▼ユネスコは、「世界大戦への反省から、平和は対話と相互理解に基づき、人類の知的及び倫理的連帯の上に築かねばならない」という精神に則り、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）は1946年11月4日に誕生しました。

ユネスコスクールは、世界182か国から12000校以上の学校が参加する国際的なネットワークです。ユネスコと連携して「人々の心の中に平和の砦を築く」ための革新的で創造的な教育への取り組みを生み出しています。

また、ユネスコが提唱する教育理念、『学びの4本柱』を重視しています。①知ることを学ぶ、②為すことを学ぶ、③人間として生きることを学ぶ、④共に生きることを学ぶ

※2▼キャンディデート校とは、ユネスコへの申請後、加盟登録に至るまでの期間が長期化している現状を踏まえ、国内審査を終えユネスコ本部に申請中段階にある学校のことです。

※3▼「ＥＳＤ」とは、「Education for Sustainable Development（＝持続可能な開発のための教育）」を略した言葉です。

国連が掲げる「ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）」は、将来にわたって世界中の人々が豊かに暮らしていくために、達成するべき17の目標から成ります。「ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）」は、ＳＤＧｓが目指す「持続可能な社会」の創り手を育てようとする教育のことを言います。

90th Anniversary　～つなぐ・つながる～

記念式典　2023年11月19日（午前　アリーナにて）

森陽子様より寄贈『もう一つの地球』

Program

- ●奏楽　吹奏楽部＆ＯＢＯＧバンド
- ●理事長挨拶
- ●来賓挨拶（鈴木健次様）
- ●日本学士院賞受賞のお祝い（永嶺謙忠様）
- ●松ぼっくり基金高額寄付者表彰
- ●『建学の精神モニュメント』の紹介
- ●学園パフォーマンス（幼・小・中高）
- ●学園歌斉唱　中高書道パフォーマンス

奏楽「未来への扉」

岩武学理事長より挨拶

永嶺謙忠様お祝いの花束贈呈

学園パフォーマンス（幼・小・中高）

祝賀会（午後　カフェテリアにて）

住田昌治学園長より挨拶

「湘南食育ラボ」100％手づくりの会食でお祝い

湘南学園未来フォーラムを開催！

住田学園長をファシリテーターに、
学園の小学生・高校生・持続可能な社会実現のため活動されているゲストスピーカーの皆さんが、「湘南学園と、わたしたちの生きる社会の未来」について語り合いました。

登壇者の皆さん
左から　田中寛基さん（高2）　河原えれんさん（小6）
露木しいなさん　たかまつななさん　住田学園長

小学３年生による総合学習の発表も行われました

生徒会総務委員長　清　水　啓　介

90周年記念式典において創立期卒業の先輩方から「湘南学園は設立当時から自由で、生徒自治を大切にしている学校でした」というお話があり、湘南学園の自由で生徒主体的な学校は設立から基本的な姿勢を変えずここまで、諸先輩方の努力のおかげにより成り立ってきたこと、感謝の念に堪えません。

湘南学園の生徒主体は決して生徒だけという意味ではなく、教職員、先輩方と協力しながら、しかしその中であくまで生徒が主体となって生徒会を運営していくことであると考えています。生徒主体というのは一見、簡単そうに見えますが、非常に難しいことです。人々は難しい事、面倒くさい事を避け、逃げることがあります。しかし、それではこの生徒主体は簡単に失われてしまいます。学校には先生といった生徒主体の代わりになる存在が数多くいるため、生徒一人ひとりが信念を持ち、自らを律していかなければ、教員主導の生徒会となり、生徒主体という制度は簡単に瓦解してしまうのです。湘南学園の先輩方は「生徒主体そして自由の信念」を持ち活動し、またそれをサポートして見守ってくれる教職員がいたからこそ、ここまでこれたのだと、改めて気づかされました。

100周年、さらにその未来200年、300年と湘南学園の生徒主体が生徒によって引き継がれ、守られてほしいと切に願っています。

魅力あふれる多種多様なイベントが開催されました！

ミニコンサート

卒業生でもある、世界的チェリスト安田謙一郎氏によるチェロコンサートは大盛況。学園生とのアンサンブルも行われました。

虹の戦士

アメリカ・インディアンたちの間で伝えられてきた物語「虹の戦士」の精神に触れ、参加者で大きな「虹」をつくりました。
語り手の坂口さんによる物語朗読も行われました。

篆刻体験教室

小学校髙橋慎司先生による篆刻体験教室にも、多くの子どもたちや保護者が参加しました。

ＰＴＡ会長　江利川　ちひろ

湘南学園創立90周年、誠におめでとうございます。ＰＴＡ会長として、またスタートアップメンバーとして、イベントに関わることができたことを大変嬉しく思っております。

ＰＴＡ役員会では、90周年イベント当日に10年後の100周年に向けた企画として【タイムカプセルポスト】をＰＴＡブースの中に置きました。タイムカプセルというと手紙や物をどこかに埋めるイメージを持っていましたが、現在では封筒に入れた手紙を１通1000円程度で10年間預かってくれ、10年後に記載した住所へ配達されるという画期的なサービスがあるとのこと。担当になってくださった方々のご尽力により、皆さまからお預かりした手紙を、昨年末に無事に業者さんにお届けすることができました。

90周年のテーマは「つなぐ・つながる」です。タイムカプセル企画にご参加くださった方が、10年後にこのつながりが存続していることを実感していただけると幸いです。

哲学対話教室

哲学対話教室も開催。異なる世代の人たちで同じテーマについて語り合う、貴重な機会になりました。

ビーチクリーン&ワークショップ

90周年プレ企画として、10月に実施したビーチクリーン＆ワークショップ。
持続可能な社会実現のために大人と子どもが共に学び、行動するステキな企画でした。

世界一大きな絵

学園の皆で描いた「世界一大きな絵」！
当日は、全体会会場のアリーナに展示されました！

同窓会会長　**山　口　英　昭**

創立90周年の行事は湘南学園の総力挙げて大成功だったと思います。おめでとうございます。
行事企画の立ち上がりはコロナ禍の影響で大幅に遅れてスタートしましたが、理事会・学園・ＰＴＡ・生徒会・後援会・同窓会がそれぞれの得意分野の作業を進め、知人・友人・専門分野の方々と『～つなぐ～つながる』のテーマ通り、手作り感溢れる心温まる、全員が楽しめる学園一丸となった行事を行うことが出来たと思います。
特に感じた事は、理事会から同窓会まで女性メンバーのコミュニケーションの良さが原動力となっていました。
皆様ご家庭を持っておられるにも拘わらず、朝早くから夜遅くまでミーティングや作業をされ、ご家庭のご理解がなければ出来なかった事と感謝しております。
『ＰＴＡフェスティバル』『学園祭』『創立90周年行事』全てに於いて湘南学園らしさを存分に出して盛り上がった90周年イヤーだったと思います。
2024年度はこの気持ちを忘れずに100周年に向けての第一歩として気を引き締めて踏み出したいと思います。

同窓生をお迎えするホームカミングデーも同日開催されました！

学園生や教職員が「今」の湘南学園を案内する学園ツアー。
参加された同窓生の皆さんは、昔を懐かしみながら思い出話に花を咲かせておられました。

中高ドライエリアはいつも多くの人の笑顔であふれていました！

青空イートインスペースは、いつも大賑わい。
数十年ぶりに同級生と再会したという素敵なエピソードも生まれました。
キッチンカーはいつも大賑わいでした。

学園小学生が、総合学習でお世話になった農家さんの野菜を販売！

NPO法人湘南食育ラボ　理事長　**原　田　ゆう子**

2023年11月19日（日）、実行委員の皆様のご協力により90周年記念祝賀会がカフェテリアで行われました。多くの同窓生や教職員、生徒、保護者など湘南学園にゆかりのある方々が集い、人と人とのつながり、学園の歴史から未来へのつながり、まさに90周年のテーマ“～つなぐ・つながる～”を実感致しました。

祝賀会では昨年度小学校5年生の食とエシカル消費の授業で提供した「Ma Cuisine」の池尻シェフが考案したフレンチのメイン料理と同じメニューを味わっていただきました。皆様から大変ご好評をいただきました。

子どもたちの学びがつながり、このような記念すべき日に華を添えることが出来大変嬉しく思っております。

今後も100周年に向けて、学校との連携を密にし、日々食育活動に取り組んで参ります。

感動の渦を巻き起こし未来につなげた
湘南学園 ON STAGE

LIVEの幕開けにふさわしい、リズミカルな楽曲で会場を盛り上げた軽音楽部

神澤清さんによるラップ

司会も高校生が担当しました

小学生による大迫力の民舞メドレー

躍動した中高ダンス部

テミヤンさんの演奏と、中２生青木海里くんのフラダンスコラボ

卒業生の三浦さんからご提供いただいた「おぼえているかい」を
会場の全員で歌い、感動のフィナーレを迎えました。

後援会会長　近　藤　えり子

湘南学園創立90周年おめでとうございます。

湘南学園後援会も、お陰様で2009年の設立から15年を迎えることができました。

昨年11月に開催された90周年記念式典では、後援会としてホームカミングデーを中心とし、中でも学園ツアーのご案内係、また、全体のご案内などを担わせていただきました。ツアーには事前に予約をしてくださった方、当日参加をしてくださった方、年齢の幅も広く、園舎・校舎を巡りながら一瞬でそれぞれの時代に戻り、思い出話に花が咲き、皆さまの素敵な笑顔でご案内係の私たちまで幸せなあたたかい気持ちにさせていただきました。学園を卒業しても尚、学園を愛し続けてくださる方々が沢山いらっしゃることを改めて感じることが出来ました。

創立90周年を迎えた湘南学園の文化とは、人として大切な心のゆとり教育を学ぶことだと思います。また、保護者と教員が一体となって考え、活動し、意見を出し合えるのが学園の特色であり、次々と伝統を伝えられる組織の強さも魅力ではないでしょうか。伝統は、新しい世代に受け継がれるべき尊い財産です。

学園がこの先の未来も笑顔溢れる場であり続けられる様、お手伝いさせていただきたいと思っております。

学園創立90周年…いま、あらためて総合学園としての〝繋がり〟に目を向け、実践課題を探る

23年度全学教研実行委員長
中高教諭　有薗和子

今年の実行委員会では、昨年に続き、「90周年を目前にひかえ、百周年を目指す学園にとって、何が必要なのか：しっかり問いなおせる場に」と話し合い、その中から、「それぞれのパートの教育実践を、他パートの目で見てみるのはどうだろう」という提案が生まれました。

6月末から7月上旬、各パートの皆様のご理解とご協力を得ながら、教員同士、互いの職場を訪問し、それぞれの教育現場を視察。全学教研当日には、その時の様子を、みなさんに紹介しました。

幼稚園では、わくわくデーに向かっていく幼稚園の子どもたちの気持ちの高鳴りや、「自分たちでつくりあけるんだ！」という意欲あふれる様子が、そして小学校では、「こうやって、遊びから学びへのスロープを丁寧に登らせていただいてるんですね」と幼稚園の先生方から。

中高を視察された小学校の先生からは、「いろんな個性の子どもたちを、しっかりと受け止めてくれる中高の教育の豊かさを感じました」…と。

実行委員会では、この取り組みから見えてきたこと、確かめられたことを踏まえながら、「なにかふんわりとした〝繋がり〟ではなく、子どもの現実を真ん中に据えた〝授業実践と学力づくりの上での繋がり〟を確認しあえる場にしよう」、「このテーマで全パートが共に考えあっていくことこそが、次の10年を支える太い幹となるのではないか」という問題意識のもと、

創立90周年…総合学園としての〝繋がり〟に目を向け、実践課題を探る

というテーマを据えることにしました。

午後の時間には、イラクなどの紛争地で、人道・医療支援に取り組まれているフリーランスのエイドワーカー、高遠菜穂子氏の講演を企画しました。ここでのテーマは、

『戦争が与える影響 ～からだと心に残るトラウマ～』

私たちは、この講演で、〝戦争のリアル〟を見つめるとともに、日頃取り組んでいる「対話やコミュニケーションの力を育む実践」が、平和な世界を作るためにどれほど大切であるか、あらためて実感することができました。

さて、午前中は教科指導に関わる3本の実践報告からスタートしました。

小学校低学年の算数（小林大介教諭）▼教室での勉強が始まったばかりの子どもたちから、「座ってばっかりでつまんない！遊べないんだもん」といわれ、とにかく授業を楽しいものにした小林先生。学びのモチベーションをアップさせよう！と、「2さんと3ちゃんのけんか」「タイルマン」「タイルのいちこちゃんは、5人でロング父さんへ」etc.いろいろな工夫やイメージ化を図った実践が語られました。

小学校高学年の算数（木村陽一教諭）▼「2×0.3」は、かけ算なのに答えが小さくなる!?この算数最大の課題！をどう乗り越えていくのか。具体から抽象への階段を登り始める段階での指導の工夫。また、「一両」ってどんなものが買えるの？歴史の中の数について考えてみる発展授業の実践もご紹介いただきました。

「中高の数学教育で大切にしたいこと」（里吉正教諭）▼この3年間くらい連続して中1を担当した立場から、中高に上がった段階で、どんな力が必要か：入学段階で、すでに格差が出てしまいやすい数学では、内部・外部でも、学力層が大きく違うことについて、まとめのテストや、中学入学後の到達度試験、学力推移調査等の具体的データをあげて説明されました。

参加者は、このあと幼小中高教員がそれぞれ混ざったグループに分かれて意見交換。終了後には、こんな声が聞かれました。

●大学入試が強調される形で、総合学園としての在り方（小中の接続）について問題提起がされたように思う…やはり湘南学園が考える「学力」とは何か？さらなる議論が不可欠：

●出されたデータは、学園として大切にされなければいけない。これをどう読んでどう活かしてくか、有志参加による下からの議論も必要：

●…やはり幼小中高で教員が交流をし、15年間の学びとしてとらえ、考えていかなければならない。新たな課題も見つけることができたディスカッションだった。

●生徒達が楽しみながら、興味関心、主体的に学習出来るように先生方が工夫されていることがよく分かった。幼から小へ、中学への内部進学については、パート同士の対話がもっと必要。

●目に見える学力の差というのにしっかりと対処しつつ、目に見えない学力がどのように幼・小で培われ、それが中高でどのように活かされているのかなどはもっと頻繁にパートを超えて情報共有をできたら良い：

「創立90周年」の年に行われた「全学教研2023」は、〝パート同士の繋がりの大切さ・不可欠さ〟に注目する機会となり、また、生徒の発達に視点をおく総合学園として、「どんな学力観を持って各パートがつながるのか」、「個性豊かな、一人ひとりの子どもたちの強みを生かす授業のありかたとは：？」などなど、重要な課題を意識し合う場になりました。

しかし、今回1番の成果は、〝指導の不十分さ〟だとか、〝教材観の違い〟だとかを、「あっちのパートの責任！」などとするのではなく、「この現実から、今の現在地を確認することができたよね。さあ、ここから見えてくる課題をどうしていくか…みんなで考えあおう！」…そうした空気が、パートを超えてできてきたこと。そして、なにより、各パートの教育実践に目を向けあい、それぞれの努力や苦悩をリスペクトしあえる〝土壌〟ができたことではないか…と、実行委員一同は感じました。

アフター企画として打ち出した「小から中への接続について、もっと話そう！」は、小さな集まりではあったものの、その土壌を作る確かな一歩になったなと感じています。

湘南学園松ぼっくり基金　寄付者芳名録

2023年１月～2023年12月

湘南学園にご寄付いただきました寄付者の皆様に感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。

◆複数の使途に一括でご寄付いただいた方は、均等分割した金額で記載しております。
◆「学園だより」本号におきまして、ご寄付の活用状況や寄付金の受入状況のご報告を掲載しております。

一般寄付

一〇〇、〇〇〇円
金澤基彦様
後藤寛典様
森川信宏様

八〇、〇〇〇円
鈴木重光様

五〇、〇〇〇円
近藤孝教様
高嶋浩様

三〇、〇〇〇円
荒井理史様
梶原幹生様
吉川沙耶花様
古尾谷昌平様
佐藤和博様
野尻賢哉様
横山大地様

二〇、〇〇〇円
小谷美穂子様
フォルスター麻里子様
星憲幸様

一六、六七〇円
大塚由一郎様

一五、〇〇〇円
櫻井育子様

一〇、〇〇〇円
尾日向暁様
関根吉晃様
出羽仁様
戸井田士郎様
中村絵里子様
堀容隆様
森有紀様

五、〇〇〇円
市川清虎様
照屋智美様
平岡太郎様

学園高校生の海外留学支援

一六、六六六円
大塚由一郎様

一〇、〇〇〇円
清水孝一様

一、六六七円
飯田信之様

学園中高生の部活動支援

一、〇〇〇、〇〇〇円
梅村正毅様

五〇、〇〇〇円
大島智晃様
大森亜弓様
金子雅俊様
山添有様
吉野和巳様

三三、三三四円
湯浅直樹様

三〇、〇〇〇円
田中寛之様
津川直樹様

一六、六六六円
大塚由一郎様

一〇、〇〇〇円
相原海星様
阿部洸希様
石津賢二様
勝田陽斗様
神谷高雅様
鈴木康平様
寺師航様
山本一郎様

五、〇〇〇円
石津貴士様
内海凪子様
大場英毅様
押本快様
木田優様
熊谷法子様
小山創也様
佐々木湧斗様
廣瀬麻梨様
藤原慎也様
松田裕基様
宮武次郎様
村田悠輔様
山本宏一様
山本祐司様
吉川邦浩様
吉川真弘様

一、六六七円
飯田信之様

学園小学校の教育環境支援

一〇〇、〇〇〇円
武石浩之様
鳥澤拓也様
山口恭兵様

六〇、〇〇〇円
原嶋崇太様

五〇、〇〇〇円
近藤博英様

三三、三三三円
湯浅直樹様

三〇、〇〇〇円
近藤博英様

一六、六六六円
大塚由一郎様

一〇、〇〇〇円
酒井大輔様
中谷逸希様

五、〇〇〇円
高岡英生様

学園幼稚園の教育環境支援

三六〇、〇〇〇円
志賀勇太様

五〇、〇〇〇円
當間浩昭様
Li Brian Wai Ho様

二〇、〇〇〇円
星憲幸様

一六、六六六円
大塚由一郎様

特別教職員採用・教職員研修支援

三〇、〇〇〇円
茨木寛様

一六、六六六円
大塚由一郎様

五、〇〇〇円
尾上良平様

一、六六六円
飯田信之様

特別教職員採用・教職員研修支援

三〇、〇〇〇円
茨木寛様

一六、六六六円
大塚由一郎様

五、〇〇〇円
尾上良平様

一、六六六円
飯田信之様

その他

五〇、〇〇〇円
金子雅俊様
後援会様

90周年記念事業

一、〇〇〇、〇〇〇円
加賀美公一様
龍瀧憲治様

一〇〇、〇〇〇円
江黒正敏様
江利川ちひろ様
筧元則様
北村和美様
齋藤健夫様
志甫研一様

五〇、〇〇〇円
相原敏様
岩田晃子リネー様
小林春代様
平野洋二様
李田茂様

三三、三三三円
湯浅直樹様

三〇、〇〇〇円
木村孝様
小谷美穂子様
鈴木亮平様
貫井忍様
野崎葉子様
姫野貴美子様

二〇、〇〇〇円
荒井理史様
株式会社関東建村様
佐々木康友様
柴田有祐様
永嶺謙忠様
山田明彦様

一五、〇〇〇円
櫻井育子様

一〇、〇〇〇円
臼井章様
榎本和義様
小野卓也様
金子伸幸様
川人幸一様
酒井大輔様
塩見高峰様
須藤澄志子様
高岡英生様
田草川潤様
田中智之様
田村千尋様
千村岳彦様
西村健様
橋本直哉様
フォルスター麻里子様
谷田部英次様
若狭佳功様

五、〇〇〇円
石渡慎一様
市川清虎様
大神淳郎様
大竹一彰様
田草川哲様
田口裕記様
樋口佳久様
平岡太郎様
宮武次郎様
吉川邦浩様
吉野宏様

使途の指定なし

二〇、〇〇〇円
奥山政美様

一五、〇〇〇円
クラス会様

一〇、〇〇〇円
佐藤榮子様

●匿名
二、九五五、〇〇〇円
92件（90名様）

2023年度「松ぼっくり基金」のご報告

理事長　岩　武　　学
学園長　住　田　昌　治

2019年10月に基金を創設して以来、現在まで大変多くの方からご寄付をいただいてまいりました。これまでにいただきました寄付金総額は、2023年12月末日現在で47，822，707円に達しました。心からお礼を申し上げます。

幼稚園、小学校、中学校高等学校における基金の活用状況を一部ではございますがご紹介いたします。

幼稚園

あじさいの植樹と実のなる木の植樹
（写真はあじさい）
五感で季節を感じられる、
豊かな環境を子ども達に…

ポータブル電源
いざという時の備えや、
戸外での様々な行事に使用

大型遊具（すべり台）
老朽化していた大型遊具を
新たなものに交換

振り子時計
幼稚園の玄関に時を知らせるシンボルとして、
目にも耳にもこどもの心に残る時計を…

小学校

メディアセンター書棚
小学校では、松ぼっくり基金を活用してメディアセンターの書棚を新調しました。東校舎が完成してから既に10年以上が経ち、スチール製の棚板がぐらつき始めたり、書棚の間隔が狭いこともあって災害時の危険性も懸念されていました。

今回は棚板を頑丈な木材にして書棚の数を減らしながら本の収納冊数も確保できるように依頼しました。夏休み中に床材を張り替える工事をしたことと相まって、木の温かみを感じられる明るい空間となりました。

プールフロアー

琴

吹奏楽部
オーケストラチャイム・ボンゴ・タンバリン

中　高

その他
テニス部（ネット・ボール）・野球部・ハンドボール部で、また、ＥＳＤツアーで活用させていただきました。

茶道部　掛け軸

卓球部　卓球台

松ぼっくり基金　年度毎集計表

寄付金合計金額	2019年度(2019年10月～開始)				2020年度				2021年度				2022年度				2023.4月～2022.12月				合　計（2023.12.31現在）			
	4,993,000				7,339,569				7,305,000				19,585,138				8,600,000				47,822,707			
使途別	合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般寄付金	111	2,551,334	1	5,000	13	927,507			82	3,313,334			63	2,100,000	1	100,000	47	2,198,670	2	230,000	316	11,088,845	4	335,000
学園高校生の海外留学支援	2	18,333	1	10,000	1	10,000			2	15,000	1	10,000	3	30,000	1	10,000	2	28,333	1	10,000	10	101,666	4	40,000
学園中高生の部活支援	19	608,333			3	180,000			14	585,000			18	2,072,500			57	1,031,667			111	4,477,500	0	0
学園小学校の教育環境支援	18	395,000	1	50,000	15	860,062	9	135,000	37	2,283,333	14	115,000	33	1,197,000	14	160,000	27	799,999	11	145,000	130	5,535,394	49	605,000
学園幼稚園の教育環境支援	1	15,000			0	0			30	635,000	22	440,000	20	830,000	12	360,000	14	556,666	9	270,000	65	2,036,666	43	1,070,000
特別教職員採用・教職員研修支援	1	75,000			0	15,000			4	118,333			2	82,500			2	53,332			9	344,165	0	0
その他	3	45,000			17	306,000			3	215,000			4	12,933,138			0	0			27	13,499,138	0	0
記入なし	23	1,285,000			3	41,000			7	140,000			7	340,000			8	115,000			48	1,921,000	0	0
教育振興寄付金より	0	0			1	5,000,000			0	0			0	0			0	0			1	5,000,000	0	0
90周年記念事業	0	0			0	0			0	0			0	0			74	3,818,333			74	3,818,333	0	0
合　計	178	4,993,000	3	65,000	53	7,339,569	9	135,000	179	7,305,000	37	565,000	150	19,585,138	28	630,000	137	8,600,000	23	655,000	791	47,822,707	100	2,050,000

※使途が複数の場合は、件数は記載順でカウント、寄付金については均等に分配

関　係　別	合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付		合計		内、継続寄付	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
卒業生	102	2,393,000	2	15,000	16	140,000	7	35,000	23	1,355,000	14	75,000	26	1,660,000	14	170,000	80	2,340,000	11	255,000	247	7,888,000	48	550,000
在校生保護者	59	1,455,000	1	50,000	16	6,695,000	2	100,000	141	4,175,000	23	490,000	111	4,620,000	14	460,000	135	5,575,000	12	400,000	462	22,520,000	52	1,500,000
（高等学校）	(15)	(490,000)			(4)	(185,000)			(34)	(1,230,000)			(31)	(1,440,000)			(32)	(2,180,000)			(116)	(5,525,000)	0	0
（中学校）	(14)	(330,000)			(3)	(300,000)			(31)	(605,000)			(25)	(685,000)			(38)	(1,025,000)			(111)	(2,945,000)	0	0
（小学校）	(24)	(535,000)	(1)	(50,000)	(9)	(6,210,000)	(2)	(100,000)	(41)	(1,600,000)	(1)	(50,000)	(33)	(1,735,000)	(2)	(100,000)	(44)	(1,750,000)	(3)	(130,000)	(151)	(11,830,000)	(9)	(430,000)
（幼稚園）	(4)	(85,000)							(41)	(545,000)	(22)	(440,000)	(18)	(650,000)	(12)	(360,000)	(16)	(475,000)	(9)	(270,000)	(67)	(1,755,000)	(43)	(1,070,000)
（記入なし）	(2)	(15,000)							(6)	(195,000)			(4)	(110,000)			(5)	(145,000)			(17)	(465,000)	0	0
教職員	0	0			0	0			1	200,000			1	5,000			4	180,000			6	385,000	0	0
一般	3	30,000			0	0			4	40,000			5	12,945,138			9	430,000			21	13,445,138	0	0
企業・法人	1	1,000,000			0	0			6	1,310,000			4	280,000			0	0			11	2,590,000	0	0
団体等	0	0			3	377,569			1	170,000			1	50,000			1	15,000			6	612,569	0	0
フラワーガーデン有志	0	0			16	116,000			0	0			0	0			0	0			16	116,000	0	0
記入なし	13	115,000			2	11,000			3	55,000			2	25,000			2	60,000			22	266,000	0	0
合　計	178	4,993,000	3	65,000	53	7,339,569	9	135,000	179	7,305,000	37	565,000	150	19,585,138	28	630,000	231	8,600,000	23	655,000	791	47,822,707	100	2,050,000

※関係が複数に渡る場合は、件数および金額は記載順でカウント(企業法人で複数に渡る場合は、企業・法人でカウント)

学校法人から

●理事会報告

これまでに開催された理事会についてご報告いたします。

第１回定例理事会	4／1
第１回臨時理事会	4／7
第２回臨時理事会	4／22
第１回常任理事会・第３回臨時理事会	5／12
第２回定例理事会	5／27
第３回定例理事会	6／24
第４回定例理事会	7／15
第５回定例理事会	8／19
第６回定例理事会	9／16
第７回定例理事会	10/21
第４回臨時理事会	11/ 4
第８回定例理事会	11/18
第９回定例理事会	12/16
第10回定例理事会	1／20

主要な議題・報告等

- 副理事長の選任について
- 常務理事の選任について
- 部会編成について
- 創立90周年記念寄付事業の始動について
- 2022（令和4）年度事業報告書の確定について
- 2022（令和4）年度決算書の確定について
- 貸与パソコンのリプレースについて
- 中高クラス棟・テクノ棟（レッスン2・3）ロッカー入替工事業者決定について
- 特別事業「サーバーリプレース」について
- 給与規則の改正について
- 小学校LED化工事業者決定について
- 小学校理科テラスウッドデッキ張替工事について
- 学園長選任規程及び学園長選挙管理委員会規程の改正について
- 改正私学法対応 寄附行為変更の今後の進め方について
- 次期学園長の選任について
- 2024年度予算編成方針（案）について
- 90周年記念事業の進捗について
- 評議員及び理事募集の説明会について
- 理事・評議員選任規程の改正について

●評議員会報告

これまでに開催された評議員会についてご報告いたします。

第１回評議員会	4／1
第２回評議員会	5／27
第３回評議員会	9／16
第４回評議員会	1／20

主要な諮問事項等

- 理事の選任について
- 湘南学園創立90周年記念募金の開設について
- 2022（令和4）年度事業報告書について
- 2022（令和4）年度決算書について
- 学園長選任規程及び学園長選挙管理委員会規程の改正について
- 90周年記念事業の進捗について
- 理事・評議員選任規程の改正について
- 財務説明会

学園所有地の売却につきまして

学園では昭和46年に那須ハイランド別荘地内（栃木県那須町）の土地を購入し現在まで保有し続けてまいりました。総面積は四区画で約3968平米となりますが、学園として有効に活用してきた実績がなく、今般売却の意思を学校法人としまして決定しました。

つきましては、学園関係者の皆様に広くご案内し、有効に活用いただける方に購入いただけることを望んでおります。ご意思のある方は、法人事務局長青木までご連絡を頂きたくお願いいたします。

連絡先は、0466-23-6611（代表番号）です。

事務局からのご連絡

●住所変更のお手続きについて

お引越し等の事由により、ご登録頂いている住所が変更された場合は、誠に恐れ入りますが、住所変更のお手続きをお願い申し上げます。なお住所変更に係る所定の様式は、事務局に準備させて頂いておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

●登下校・登降園時の自家用車送迎禁止

湘南学園では、園児・児童・生徒の登下校・登降園にあたっては、自家用車での送迎は原則禁止とさせて頂いております。園児・児童・生徒の安全確保はもとより、近隣の住民の方等への安全配慮もご考慮いただき、改めてご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、園児・児童・生徒の病気や怪我　等の特別な事情で止むを得ない場合は、必ず事前に学校（園）にご連絡くださいますようお願い申し上げます。

湘南学園 創立90周年記念動画

こちらのＱＲコードからご覧になれます。

SHONAN GAKUEN 90th